

# 新幹線プレス

2014年2月25日

No.153

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労新幹線地本

## 全組合員で2014JR春闘を闘おう！

### 第19回定期地本委員会開催

2月23日新幹線地本は、五反田文化センターで第19回定期地本委員会を開催しました。冒頭、成田委員長は「ベア3,500円、定期昇給6,000円、夏季手当3.5ヶ月獲得。

JR北海道労組との連帯を勝ち取るため2014JR春闘を闘っていく」「専任V』撤廃、ボーナスカットを許さない闘いと共に、労働審判の闘いを職場から闘っていく」「関連会社との連帯を勝ち取る取り組みを強化していく」と当面する春の闘いについて提起しました。

また、本部小林書記長、地本OB会長伊藤勝さんより連帯の挨拶をいただきました。



## 明るい職場をつくるため声を出そう！

その後、質疑では①ボーナスカット攻撃を許さないため、労働審判の闘いを全力で闘う。②2014JR春闘勝利に向けビラ配布などを行い闘っていく。③報復処分撤回裁判、強制出向延長取消裁判勝利に向け職場から闘う。④年休完全取得のため要員確保を執拗に求めていく。⑤職場では、軍隊並みの絶叫喚呼など「命令と服従」「規律と忠誠心」の異常な労務管理が続いている。これを許さないため職場から声を出していく。⑥三島車両所組合員への出向発令は組織破壊攻撃で許されない。⑦出向先の労働条件改善のための取り組みを進めていく。など活発な意見が出されました。その後、杉澤書記長が「出向発令、ボーナスカットなどを通じた組織破壊攻撃を許さないため管理者に立ち向かおう」「運輸所では異常時の待機指示に対して、用事があるにもかかわらず言えない状況がある。ハッキリと声を出していこう」「年休失効に関する申しれを提出した。労働者の権利を守るための取り組みを展開していく」と総括答弁を行い、当面する闘う方針を全体で確認し、力強い団結ガンバローで委員会は終了しました。

